

食品業界の皆様に向けた

清水港利活用説明会

2018.3.14 (Wed) 開催!

顕在化する物流の諸問題。

主催:清水港利用促進協会 静岡県 静岡市

トラックドライバー不足

大規模災害

モーダルシフト

時間短縮

環境問題

首都圏の混雑

全国配送の適地

BCP

セカンドポート

清水港がお役に立てるかもしれません!

食品業界の皆様に国内有数の物流港である清水港の事をまずは知っていただくため、説明会を企画しました。ぜひ、ご参加ください。

日時:2018年3月14日(水) 13:30~15:30 (12:30受付開始)

場所:都道府県会館 4F 401会議室
東京都千代田区平河町2-6-3

参加費:無料

定員:先着30名
※定員になり次第締め切ります。

プログラム(予定)

- あいさつ
- 清水港の説明(静岡県交通基盤部港湾局)
 - ・清水港ってどういう港?
 - ・なぜ、今「清水港」なのか?
 - ・物流課題を清水港で解決!
 - ・食品関係のトピック
- 質疑応答

お申込み方法

以下の内容をEmailでお申し込みください。

宛先:sppa@shizuoka-cci.or.jp

件名:清水港利活用説明会参加申し込み

内容: ①会社・団体名

②参加者役職・氏名(ふりがな)

※複数の場合は全員分。代表者に「○」を付けてください。

③代表者の電話番号

問い合わせ先 清水港利用促進協会 (担当)小坂

TEL:054-353-3401(静岡商工会議所清水事務所内)

清水港を知ってもらいたい

清水港は、国内有数の物流港・貿易港ですが、そのことは静岡県外の方たちには意外と知られていません。県外の荷主企業にも清水港を利用していただくため、まずは清水港の事を知っていただき、使える便利な港であることを認識していただきたいと考えています。



食品業界に関わる皆様に向けて

お茶の輸出に始まり、缶詰、みかんの輸出を経て、現在はマグロの水揚げが日本一など歴史的に食品とは縁深い清水港。縁の深い食品業界の皆様にもっと清水港を使っていただくべく、説明会を企画しました。



選択肢を増やして課題解決

清水港は、東京港・横浜港と名古屋港の中間に位置する港湾です。大都会を背後に抱えるそれらの港湾に次ぐ規模を誇り、日本の中心という好立地、優れた陸路のアクセス、豊富な航路、先進的な港湾施設等、その利便性は遜色ありません。清水港を利用の選択肢に加えることで、様々な課題を解決する可能性が広がります。



外貿定期コンテナ船航路は全28航路
欧州・北米航路のほか、東南アジア、中韓航路も充実

コンテナ貨物取扱量は全国8位

現状の物流に不満や不安を抱える方。清水港を選択肢に加えてみてください。

■ 会場のご案内 ■



都道府県会館

東京都千代田区平河町2-6-3

- 東京メトロ有楽町線・半蔵門線
・永田町駅: 5番出口より 地下連絡通路を経て徒歩約1分
- 東京メトロ南北線
・永田町駅: 9番b出口より 地下連絡通路を経て徒歩約1分(地下1階出入口)
- 東京メトロ丸の内線・銀座線
・赤坂見附駅: D番出口より 青山通り(国道246号)を上がり徒歩約5分(1階出入口)